

主題	生活を止めないケアの実践		
副題	ビュッフェ方式での食事の提供による、食生活の自立を目指して		
食事		自立支援	

研究期間	19ヶ月	事業所	デイサービスセンター西が丘園
発表者：相澤麻子(あいざわあさこ)		アドバイザー：	
共同研究者：			

電話	03-5924-7825	メール	n-day@busonkai.or.jp
FAX	03-5924-7712	URL	http://www.busonkai.or.jp/nishigaokaen/index.

今回発表の事業所やサービスの紹介	<所在地>東京都北区西が丘 3-16-27 一般・予防コース 45名 認知症コース 12名 計 57名定員のデイサービス。 徹底した自立支援にて「生活を止めないケア」を実践している。
------------------	--

《1. 研究前の状況と課題》

平成22年度までは、いわゆる「上げ膳・据え膳」のような形で食事提供を行っており、ご利用者は食事を職員が運んでくることをただ待っている状況だった。

開設以来10年間当たり前になっていた食事提供の仕方だったが、改めて見直してみると、ご利用者の主体性や楽しみはなく、自立支援にも繋がっていない事に気づいた。

上げ膳・据え膳の食事提供をしている限り、ご利用者がご自宅で自分の食事を作ることはおろか、ご家族が作った食事を自分で盛り付けることも出来ない。「自宅での食生活の自立」に繋がっていない状況だった。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

- ・利用者がご自身で盛り付けを行なうビュッフェ方式を取り入れることで「主体性の回復」、「食事への楽しみを持つ」、「自立支援」、「在宅生活に繋がる」を取り組みの目的とした。
- ・食事を栄養補給としてだけと捉えず、ご自身で盛り付けていただくことで料理への関心を持ち食事の楽しみを味わっていただく。
- ・座席から料理のテーブルまでの移動、盛り付け動作を毎回繰り返すことで機能維持を図り自立支援の一環とする。
- ・プラスチックから陶器の食器、半月盆に変更し自宅での食事環境に近づける。

《3. 具体的な取り組みの内容》

- ・平成22年11月から会議において具体的な方法について検討を開始した。配膳方法、食器、お盆の変更などについて検討を重ねた。テーブルの配置、ご利用者の動線などを具体的にシミュレーションしながら検討した。
- ・平成23年1月開始を目標に具体的な準備に入った。保温ボックス、食器、お盆などは栄養課が発注。ご利用者、ご家族に食事提供方法の変更のお知らせを配布した。
- ・ご利用者に事前に食事方法の変更について繰り返し説明を行い、混乱がないようにした。
- ・平成23年1月20日、ビュッフェ方式の昼食を開始した。
- ・2月にご利用者の反応、意見、職員の援助の仕方などを検証し方法の見直しを行なった。
- ・車椅子の方、麻痺があってご自身での盛り付けが困難な方などの対応など開始後に見えてきた課題を都度検討し、改善しながら進めた。
- ・テーブル、ワゴンなどのハード面での改善も行なってきた。
- ・毎月会議で意見を出し合い課題について検討、改善を重ねながら現在に至る

《4. 取り組みの結果と考察》

- ・食事への関心が高まって来た。献立の嗜好、盛り付ける量の加減などにご利用者の主体性が見られる。
- ・座席からビュッフェテーブルの往復、盛り付け動作、お盆を持って歩くなどが機能訓練の一環になって自立支援に繋がっている。
- ・数名のご利用者がお盆に食器をセットする役割、下膳の食器を片付ける役割を担って下さる様になった。

《5. まとめ、結論》

ビュッフェ方式の食事の効果として、

- ・食に対する関心を引き出すことが出来る。
- ・食事を盛り付ける動作の練習。
- ・認知症の利用者は前の方の真似をすることが出来る。
- ・歩行距離の確保。
- ・お盆を持って歩くことによるバランス能力の向上。
- ・職員は全ての利用者と話さなくてはならない為、アセスメントに繋がるが挙げられる。

私たち介護する側が、ご利用者の持てる可能性を見過ぎていたり、過度のケアで可能性を発揮するチャンスをつぶしてしまっている事がある。「継続は力なり」という言葉があるように、毎日繰り返し行なうことで、ご利用者は持てる可能性をご自身で引き出す事が出来る。

私たちが新しい事への挑戦を怠らず、改善を重ねながら根気よく継続する事で、ご利用者の可能性を引き出す事が出来る。

ご利用者の可能性と意欲を引き出すことが、「生活を止めないケア」に繋がると考える。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

本研究発表を行うにあたり、ご本人（ご家族）に口頭にて確認をし、本研究発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《8. 提案と発信》

【メモ欄】